

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時：2019年6月8日（土曜日）13時00分～16時00分

場所：東京八重洲ホール 2F 201 会議室（東京都中央区日本橋3-4-13）

出席代議員：青木、大朝、大向、岡村、半田、柴田（一成）、田村、林（左絵子）、馬場、望月、渡部、鈴木、谷本、野村、松下、井岡、縣、梅村、一本、河野、鶴（以上21名、委任状17名）

欠席代議員：相川、奥村、河合、草野、小久保、須藤、常田、戸谷、深川、犬塚、榎戸、坪井、土居、北山、横山、百瀬、大内、長田、郷田（以上19名）

伊王野・山下庶務理事、早野・柴田会計理事、佐藤事務長、黒岩、田口谷事務長補佐が出席した。

柴田一成会長、林左絵子副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が21名、議長委任状が17件、合計38件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会（2019年3月15日）の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：柴田一成

署名人：柴田一成

II. 日本天文学会 2018年度監査報告（資料3、代理早野）

田中監事より、資料3の監査報告書にもとづき、事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることが報告された。

III. 議題

III-1. 2018年度事業報告書の承認（資料4、伊王野）

資料4にもとづき事業報告があった。ほぼ例年通りの活動であった。内地留学奨学金について、採択者数しか記載されていないが、応募者数も明記するのが良いとの意見が出された。その他の文言の修正をしたのち、全会一致で承認された。

III-2. 2018年度決算書の承認（資料5、早野）

資料5-1～22にもとづき決算の報告があった。助成事業が黒字、一般事業が赤字で、公益目的事業全体としてわずかに黒字となっているが、公益目的事業が黒字となるのは望ましくない。2019年度の公益目的事業は赤字予算を組んでいる。遊休財産はまだ未確定だが若干増える可能性があり、限度額に対して余裕があまりない状況は変わっていないことが説明された。その後、全会一致で承認された。

III-3. 2019-2020年度の理事及び監事の選任について（資料6、伊王野）

次期の理事および監事の候補者リストが提示された。3月の代議員総会の仮承認リストに掲載されていた理事候補者から辞退の申し出があったことが報告され、本代議員総会における投票からは外すこととした。また、ジュニアセッション実行委員長を永続的に理事とすることに関する疑義が提出されたが、柴田会長より今回の措置は永続的ではなく、ジュニアセッション実行委員会と理事会との間のコミュニケーションを密に進めるための短期的措置（基本的に次期理事候補に

限った措置)であることが説明され、了承された。その後、理事および監事選任投票の結果、過半数以上の賛成票が確認され候補者全員を選任することが承認された。選任された理事及び監事は以下の通り。

理事	梅村 雅之	理事	富田 晃彦
理事	田村 元秀	理事	田村 陽一
理事	寺田 彩	理事	山村 一誠
理事	伊王野大介	理事	小出 眞路
理事	鈴木 建	理事	久野 成夫
理事	鹿野 良平	理事	浅田 秀樹
理事	早野 裕	理事	佐藤 文衛
理事	長瀧 重博		
理事	松田 有一	監事	大石 雅壽
理事	酒井 剛	監事	関井 隆

III-4. 次期選挙管理委員会の承認および推薦委員会委員の選任 (資料 1 2、伊王野)

理事会から提案のあった次期選挙管理委員会委員 5 名が承認された。また、推薦委員会委員 6 名が選出された。

IV. 報告

IV-1. 理事会 (2019 年 5 月 18 日) の報告 (伊王野)

2019 年 5 月 18 日に開催された日本天文学会理事会の報告がされた。

IV-2. 2018 年度早川基金報告 (資料 7、伊王野)

資料に基づき採択者の報告があった。HP の更新が滞っている点に懸念が表明された。個別の帰国報告は月報に掲載されている。

IV-3. 学術会議 天文学・宇宙物理学分科会、IAU 分科会報告 (資料 8、渡部)

IAU100 周年記念シンポジウムは両日とも 150 名以上の参加者があり、好評であった。去年は、日本から 2 名の IAU Junior Member が登録されたが、2 名とも在日外国人であった。PhD Prize の候補者となるので、積極的に申請して欲しい。日本から提案していた“Astronomical Polarimetry 2020 - New Era of Multi-Wavelength Polarimetry”が IAU Symposium として承認された。

IV-4. 名誉会員の規定の改定案 (資料 9、伊王野)

検討中の名誉会員の規定の改正案について報告があった。対象を会員に限らないことについての議論があった。また、業績に加えてこれまでの規定にあった功労も入れるべきとの意見があった。

IV-5. 天文学と安全保障 (資料 1 0、柴田一成)

声明の英語版のドラフトの紹介があった。今後、①約 1 ヶ月で完成、②HP の英語ページに掲載、③会長名で Nature 編集部に手紙として送る、④在京の海外メディアにも送る、という予定が示された。

IV-6. 第 6 期代議員選挙について (資料 1 1、伊王野)

9 月に公示する第 6 期代議員選挙について、電子投票を導入する準備を進めていることが報告された。その際、希望者には紙による投票も受け付けることを予定している。紙による投票の必要性についての疑問があったが、まだメール・インターネットを使わない会員もいることが理由で

ある。

IV-7. インターネット天文学辞典編集委員会の活動報告（資料13、縣）

辞典の質を高めるために、会員への協力を呼びかけている。アクセス数は徐々に上昇しており、認知度が上がってきている。インターネット検索でWikipediaより上位に来る項目もある。

IV-8. 会費と年会等参加費（資料14、早野）

今後の会費と年会参加費の議論の参考のため他の公益社団法人である学会について調査した結果が報告された。天文学会に比べて、会費が安い代わりに年会参加費が高い学会が多いことが確認された。

IV-9. 学会ウェブページのリニューアル進捗報告（資料15、望月）

2018年度に行った企画競争入札が不調に終わった原因を考察し、サイトマップ作成も業者に任せ、予算の適正化等の対策をとって2回目の企画競争入札のプロセスが進行中であることが報告された。今後は新委員会に引き継ぐ。研究会サイトをまとめたページを作成しないことにした方針に対して、あきらめないで欲しいとの要望があったが、情報収集の実施体制、保守の困難さ等から今委員会では難しいとの判断に至った。検討を新体制に引き継ぐ。

[資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 前回(2019年3月15日)代議員総会議事録(案)

資料3 2018年度監査報告書

資料4 公益社団法人日本天文学会 2018年度事業報告書

資料5 公益社団法人日本天文学会 2018年度決算書

資料6 次期理事監事の候補者

資料7 2018年度 早川幸男基金採択者(第101回～第104回)

資料8 日本学術会議 物理学委員会 IAU分科会からの報告

資料9 定款第8条名誉会員の規定の改定案

資料10 天文学と安全保障のかかわりについて、Astronomy and the National Security

資料11 第6期日本天文学会代議員選挙について

資料12 次期選挙管理委員会・推薦委員会の候補者

資料13 活動報告 インターネット天文学辞典編集委員会

資料14 公益社団法人の学会会費と年会等参加費の比較

資料15 学会ウェブページのリニューアル進捗報告(6回目)

2019年6月8日

議長・署名人：柴田一成